

【評価の観点】

- ・評価は各候補地ごとに、評価の指標に基づきそれぞれ評価を行います。
 - ・他の候補地と比較し優劣をつける評価ではありません。
 - ・候補地を各細目ごとに、5段階(5点～1点)で評点を付けるものとし、それぞれ数字に を付けてください。
 - ・各細目ごとの評価の指標に基づき判断し、「3」を「普通、平均」として評価をしてください。
- 「3」を基準点とし、各細目ごとの評価の指標に応じて、
- 「特に優れている、特に容易、全く影響しない 等」と判断する場合は、「5」に
 - 「優れている、容易、影響しない 等」と判断する場合は、「4」に
 - 「普通、平均」と判断する場合は、「3」に
 - 「やや劣っている、やや困難、やや影響する 等」と判断する場合は、「2」に
 - 「劣っている、困難、影響する 等」と判断する場合は、「1」に

【記入にあたって】

- ・評価項目シートは、1候補地につき1枚、計3枚あります。
- ・各候補地ごとに、全項目漏れのないように評点を付けてください。
- ・記入は黒のボールペンやペンを使用し、全てのシートに委員氏名の記入をお願いします。
- ・評点が済んだ評価項目シートは、同封の返信用封筒に入れ**平成21年10月15日(木)必着**で総合政策室宛て返送してください。

評価項目シート

委員氏名

位置選定の視点				A 候補地 自治医大北側県有地				
項目	細目	評価の指標	備考	評点				
(25)	まちづくり	まちづくりの方向性との関係 (5)	下野市総合計画・都市マスタープランや合併協定との整合性があるか ・参考資料1を参照	5	4	3	2	1
		まちづくりの発展性 (5)	周囲に民間開発等による発展可能性の余地があるか	5	4	3	2	1
		周辺環境への影響 (5)	庁舎建設が周辺の生活環境(日照、通風、電波障害、自然環境、道路交通量、眺望等)に影響する恐れがないか	5	4	3	2	1
		都市基盤の整備状況 (5)	インフラ(上下水道)の整備は不要か ・上水道管が敷設済 ・下水道は認可区域外であり、整備の必要あり	5	4	3	2	1
		都市機能の集積 (5)	他の官公署、金融機関、商業施設へのアクセスが便利であるか ・参考資料2を参照	5	4	3	2	1
(25)	利便性	交通の事情 (5)	駅からの距離や移動経路など公共交通機関の利用に関する利便性、将来の高齢化社会への対応の容易性があるか ・バス路線なし ・自治医大駅(1.9km 車5分、徒歩約30分)	5	4	3	2	1
		交通の事情 (5)	主に都市計画道路網や幹線道路との位置関係など、自動車によるアクセスが便利であるか ・市道に敷地南側で接面し、市道は国道4号線へ西側で接続	5	4	3	2	1
		交通の事情 (5)	周辺道路が歩道付であるなど、自転車や徒歩によるアクセスが便利であるか ・幅員約12.0m(両側歩道付・アスファルト舗装)の市道に敷地南側で接面	5	4	3	2	1
		人口の集積 (5)	下野市の人口重心であるか ・参考資料2を参照	5	4	3	2	1
		人口の集積 (5)	下野市の地理的重心であるか ・参考資料2を参照	5	4	3	2	1
(20)	安全性・防災拠点性	防災上の拠点性、援助活動の容易性 (5)	災害時に他機関(消防、県)との連携、応援拠点として関係者、車両、物資等を受け入れるためのスペースの確保が容易か	5	4	3	2	1
		防災性 (5)	自然災害(地震・台風・洪水)に対する安全性があるか	5	4	3	2	1
		災害時の補完性 (5)	災害時に周辺道路が充実しており、庁舎が孤立しないか	5	4	3	2	1
		広域の連携 (5)	他都市との連携(陸路からの受け入れ)は容易か	5	4	3	2	1
(30)	実現性・経済性	土地利用上の規制 (5)	現状の都市計画(線引き、用途地域)との適合性はあるか ・市街化調整区域	5	4	3	2	1
		用地買収の難易度 (5)	用地買収は容易か	5	4	3	2	1
		用地買収の経済性 (5)	地価の高さは経済的か ・18,000円 / m ² 当たり	5	4	3	2	1
		文化財の保護 (5)	文化財調査の規模及び調査期間が建設に影響する恐れがないか ・遺構が点在し、調査の可能性あり	5	4	3	2	1
		用地の利用状況 (5)	既存施設、建築物等の移転・除却の必要性がないか ・必要性なし	5	4	3	2	1
		周辺インフラの整備 (5)	周辺道路の拡幅や庁舎への進入路の確保などにかかる事業費が小さいか	5	4	3	2	1
合計(100点満点)								

評価項目シート

委員氏名

位置選定の視点				C候補地 自治医大駅西側				
項目	細目	評価の指標	備考	評点				
(25)	まちづくり	まちづくりの方向性との関係 (5)	下野市総合計画・都市マスタープランや合併協定との整合性があるか ・参考資料1を参照	5	4	3	2	1
		まちづくりの発展性 (5)	周囲に民間開発等による発展可能性の余地があるか	5	4	3	2	1
		周辺環境への影響 (5)	庁舎建設が周辺の生活環境(日照、通風、電波障害、自然環境、道路交通量、眺望等)に影響する恐れがないか	5	4	3	2	1
		都市基盤の整備状況 (5)	インフラ(上下水道)の整備は不要か ・上水道管が敷設済 ・下水道は未供用地区だが、公共下水道幹線が計画決定されているので、工事は下水道事業で実施予定	5	4	3	2	1
	都市機能の集積 (5)	他の官公署、金融機関、商業施設へのアクセスが便利であるか ・参考資料2を参照	5	4	3	2	1	
(25)	利便性	交通の事情 (5)	駅からの距離や移動経路など公共交通機関の利用に関する利便性、将来の高齢化社会への対処の容易性があるか ・バス路線なし ・自治医大駅(160m 徒歩約3分)	5	4	3	2	1
		交通の事情 (5)	主に都市計画道路網や幹線道路との位置関係など、自動車によるアクセスが便利であるか ・国道4号線に敷地東側で接面	5	4	3	2	1
		交通の事情 (5)	周辺道路が歩道付であるなど、自転車や徒歩によるアクセスが便利であるか ・幅員約12.0m(両側歩道付・アスファルト舗装)の国道4号線に敷地東側で接面	5	4	3	2	1
	人口の集積	人口の集積 (5)	下野市の人口重心であるか ・参考資料2を参照	5	4	3	2	1
		人口の集積 (5)	下野市の地理的重心であるか ・参考資料2を参照	5	4	3	2	1
(20)	安全性・防災拠点性	防災上の拠点性、援助活動の容易性 (5)	災害時に他機関(消防、県)との連携、応援拠点として関係者、車両、物資等を受け入れるためのスペースの確保が容易か	5	4	3	2	1
		防災性 (5)	自然災害(地震・台風・洪水)に対する安全性があるか	5	4	3	2	1
		災害時の補完性 (5)	災害時に周辺道路が充実しており、庁舎が孤立しないか	5	4	3	2	1
	広域の連携 (5)	他都市との連携(陸路からの受け入れ)は容易か	5	4	3	2	1	
(30)	実現性・経済性	土地利用上の規制 (5)	現状の都市計画(線引き、用途地域)との適合性はあるか ・市街化調整区域	5	4	3	2	1
		用地買収の難易度 (5)	用地買収は容易か	5	4	3	2	1
		用地買収の経済性 (5)	地価の高さは経済的か ・9,780円 / m ² 当たり	5	4	3	2	1
		文化財の保護 (5)	文化財調査の規模及び調査期間が建設に影響する恐れがないか ・遺構の包蔵範囲は狭いと想定される	5	4	3	2	1
		用地の利用状況 (5)	既存施設、建築物等の移転・除却の必要性がないか ・必要性あり	5	4	3	2	1
		周辺インフラの整備 (5)	周辺道路の拡幅や庁舎への進入路の確保などにかかる事業費が小さいか	5	4	3	2	1
合計(100点満点)								

評価項目シート

委員氏名

位置選定の視点				F候補地 国分寺庁舎				
項目	細目	評価の指標	備考	評点				
(25)	まちづくり	まちづくりの方向性との関係 (5)	下野市総合計画・都市マスタープランや合併協定との整合性があるか ・参考資料1を参照	5	4	3	2	1
		まちづくりの発展性 (5)	周囲に民間開発等による発展可能性の余地があるか	5	4	3	2	1
		周辺環境への影響 (5)	庁舎建設が周辺の生活環境(日照、通風、電波障害、自然環境、道路交通量、眺望等)に影響する恐れがないか	5	4	3	2	1
		都市基盤の整備状況 (5)	インフラ(上下水道)の整備は不要か ・上水道、下水道とも工事は不要	5	4	3	2	1
		都市機能の集積 (5)	他の官公署、金融機関、商業施設へのアクセスが便利であるか ・参考資料2を参照	5	4	3	2	1
(25)	利便性	交通の事情 (5)	駅からの距離や移動経路など公共交通機関の利用に関する利便性、将来の高齢化社会への対処の容易性があるか ・バス路線なし ・小金井駅(2.0km 車約4分、徒歩約30分)	5	4	3	2	1
		交通の事情 (5)	主に都市計画道路網や幹線道路との位置関係など、自動車によるアクセスが便利であるか ・県道に敷地南側で接面、南側から市道が交差	5	4	3	2	1
		交通の事情 (5)	周辺道路が歩道付であるなど、自転車や徒歩によるアクセスが便利であるか ・幅員約12.0m(両側歩道付・アスファルト舗装)の県道に敷地南側で接面	5	4	3	2	1
	人口の集積	人口の集積 (5)	下野市の人口重心であるか ・参考資料2を参照	5	4	3	2	1
		人口の集積 (5)	下野市の地理的重心であるか ・参考資料2を参照	5	4	3	2	1
(20)	安全性・防災拠点性	防災上の拠点性、援助活動の容易性 (5)	災害時に他機関(消防、県)との連携、応援拠点として関係者、車両、物資等を受け入れるためのスペースの確保が容易か	5	4	3	2	1
		防災性 (5)	自然災害(地震・台風・洪水)に対する安全性があるか	5	4	3	2	1
		災害時の補完性 (5)	災害時に周辺道路が充実しており、庁舎が孤立しないか	5	4	3	2	1
		広域の連携 (5)	他都市との連携(陸路からの受け入れ)は容易か	5	4	3	2	1
(30)	実現性・経済性	土地利用上の規制 (5)	現状の都市計画(線引き、用途地域)との適合性はあるか ・市街化調整区域	5	4	3	2	1
		用地買収の難易度 (5)	用地買収は容易か	5	4	3	2	1
		用地買収の経済性 (5)	地価の高さは経済的か ・9,780円 / m ² 当たり	5	4	3	2	1
		文化財の保護 (5)	文化財調査の規模及び調査期間が建設に影響する恐れがないか ・遺構が点在し、調査の可能性あり	5	4	3	2	1
		用地の利用状況 (5)	既存施設、建築物等の移転・除却の必要性がないか ・必要性あり	5	4	3	2	1
		周辺インフラの整備 (5)	周辺道路の拡幅や庁舎への進入路の確保などにかかる事業費が小さいか	5	4	3	2	1
合計(100点満点)								